

## タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2011 助成の概要と推薦理由

助成番号 11-1-1

---

プロジェクト名 被災地域を中心とした小児医療施設へのクリニック라운の特別派遣事業  
団体名 特定非営利活動法人日本クリニック라운協会  
代表者名 河 敬世  
所在地 大阪府  
助成額 165万円  
助成期間 2011年10月1日～2012年3月31日  
設立年 2004年  
URL <http://www.clinicclowns.jp/>



闘病生活にはストレスが多いが、東日本大震災のような大災害の際にはさらに恐怖や不安が加わり、心的外傷後ストレス症候群（PTSD）を発症する場合も少なくない。こどもの場合はその影響がさらに大きいといわれ、心のケアが求められている。同時に、自らも被災しながら医療現場で救援や治療に当たり続ける医療スタッフの疲弊も大きく、バーンアウト（燃え尽き症候群）の防止も含めて医療スタッフのメンタルケアも大きな課題である。

本団体は、闘病生活を送る子どもの権利を尊重し、入院している子どもたちのもとへクリニック라운（臨床道化師）のあたたかい笑顔と心のこもったふれあいを届けることを通じて、こどもの成長や発達を支え、入院中のQOL向上を目指している。

今回の助成では、2011年4月から半年間、東日本大震災の被災地域を中心とした小児医療施設（3病院）へ毎月1回クリニック라운を特別派遣することで、療養環境の維持とPTSDなどの震災後の心のケアを念頭に置いた子どもたちの不安軽減とストレス解消、また家族や医療関係者のメンタルケアの一助としての貢献を目指す。

今回の活動を通じて入院中の子どもと家族、医療スタッフへの心のケアの一助となることを何よりも願っている。本団体は震災の直後より支援活動を始め、過去の災害（阪神淡路大震災、新潟県中越地震）でも支援活動を行った経験がある。医療関係者のバーンアウトなどへの視点や、中長期の支援活動を想定している点も評価して助成した。